

## 面接授業概要

科目コード	2608294	授 業 概 要	<p><b>【授業内容】</b> 中国を語る上で中華料理は欠かせません。役立つ中華料理のメニューの読み方、素材や調理法など中華食文化を学びながら、基本的な中国語の文法や語彙を勉強します。日本人が知らない中国の不思議な事や中国の日常生活、文化、風俗も楽しく学んでみましょう。使える、役立つに視点を置き、自然な会話が身に付くよう実際の場面を想定しレッスンします。「レストラン」で役立つ表現を中心に初歩的な会話を楽しめるようになります。</p> <p><b>【授業テーマ】</b> 第1回 中国の世界へようこそ 第2回 中国語ってどうなってるの 第3回 中国語を発音してみよう 第4回 中華料理の色々 第5回 中華料理名の仕組みと調理法あれこれ 第6回 料理の注文 第7回 行事と食習慣 第8回 中華料理のマナー</p> <p><b>【学生へのメッセージ】</b> 中国語の使い方を楽しく実践的に紹介するレッスンです。中国での生活や中国の文化に興味がある方、大歓迎です。一緒に楽しみたい方は、是非受講してください。</p> <p><b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p><b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p><b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。</p> <p><b>【その他（特記事項）】</b> この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。</p>
学習センター	山梨学習センター		
学習センターコード	19A		
クラスコード	K		
科目名	食ベチャイナ		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	120		
定員	40名		
担当講師	リン ギンティ 林 吟貞 (山梨大学・非常勤講師)		
日程 実施時間	10月29日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 10月30日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2608308	授 業 概 要	<p><b>【授業内容】</b> 本講義は、自らの健康の保持・増進を図り、生涯に渡り充実した人生を送ることができるようになることを目的としており、その中でも特に日常生活で身体活動レベルを高めること、運動習慣を身につけることの重要性を認識することを目標とします。様々な疾患と身体活動・運動との関わりを学ぶことで、日常生活の中で身体を動かすことの重要性を一緒に考えていきたいと思えます。</p> <p><b>【授業テーマ】</b> 第1回 健康とは？ 第2回 身体活動・運動とがん 第3回 身体活動・運動と循環器疾患 第4回 身体活動・運動と糖尿病 第5回 身体活動・運動と肥満・メタボリックシンドローム 第6回 身体活動・運動と骨粗鬆症 第7回 身体活動・運動と認知症 第8回 身体活動・運動習慣の状況</p> <p><b>【学生へのメッセージ】</b> 運動と健康の関わりを一緒に考えていく双方向の授業とするため、質問をしながら講義を展開していきます。</p> <p><b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p><b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p><b>【受講者が当日用意するもの】</b> 筆記用具、ノート等</p> <p><b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。</p> <p><b>【参考書】</b> ・運動生理学 生理学の基礎から疾病予防まで(第2版)(小山勝弘・安藤大輔／編著／三共出版／¥2,750／ISBN=9784782708026)</p> <p><b>【その他（特記事項）】</b> この科目は2009～2015年度「共通科目：保健体育」に該当します。</p>
学習センター	山梨学習センター		
学習センターコード	19A		
クラスコード	K		
科目名	身体活動・運動と健康の科学		
科目区分	基盤科目：保健体育		
ナンバリング	120		
定員	30名		
担当講師	アンドウ ダイスケ 安藤 大輔 (山梨大学・准教授)		
日程 実施時間	10月22日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 10月23日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時はWeb (Zoom) 授業で実施		

科目コード	2608316	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 人工知能やAIというキーワードが、ニュースや新聞で毎日のようにとりあげられるようになりました。私たちの仕事の一部が、人工知能にとってかわられるのではないかと心配している人もいます。この講義では、人工知能について理解するための第一歩として、その特徴を平易に説明します。さらにコンピュータを使った簡単な実習をとおして、内容の理解を深めます。この講義の終了時には、人工知能とは何か説明できるようになります。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 身近で使われる人工知能 第2回 機械学習とは何か 第3回 実習環境の準備 第4回 機械学習の手順 第5回 予測や分類 第6回 人工知能でやっていること1 第7回 人工知能でやっていること2 第8回 ふりかえりとまとめ <b>【学生へのメッセージ】</b> 放送大学キャンパスメールにログインできるように、IDとパスワードを確認（一度ログインできるか、確認）しておいてください。 <b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 <b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。 <b>【参考書】</b> ・Python 3年生 機械学習のしくみ（森 巧尚／翔泳社／¥2,420 / ISBN=9784798166575） <b>【その他（特記事項）】</b> この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
学習センター	山梨学習センター		
学習センターコード	19A		
クラスコード	K		
科目名	やさしく分かる人工知能		
科目区分	導入科目：情報		
ナンバリング	220		
定員	15名		
担当講師	ゴウ ケンタロウ 郷 健太郎 (山梨大学・教授)		
日程 実施時間	10月29日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 10月30日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時はWeb (Zoom) 授業で実施		

科目コード	2608324	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> コンピュータはプログラムに従って動く機械です。したがって、プログラムが作れるようになると、コンピュータをあなたの意のままに操ることができます。この授業では、C言語というプログラミング言語を用いて、コンピュータ・プログラミングの基礎について学びます。授業は実習を中心に進め、教科書に記載されたプログラム例を実際に入力して実行したり、プログラムの一部を変えてみたりすることで、プログラミングに関する初歩的な知識とスキルを身につけます。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 プログラムってどうやって作るの？ 第2回 何かを出力させてみよう 第3回 データを入れる箱を使おう 第4回 データの入出力をしよう 第5回 ある条件のときに処理をさせよう 第6回 何度も繰り返して処理をさせよう 第7回 よく使う処理は関数にしよう 第8回 ファイル処理をマスターしよう <b>【学生へのメッセージ】</b> 主として、これまでにプログラミングの経験がない方を対象とします。また、実習を中心にいきますので、キーボードを見ながらで構いませんが、文字入力に苦勞しない程度の初歩的なコンピュータのスキルが必要です。 <b>【受講前の準備学習等】</b> ファイルのコピーなどコンピュータの基本的な使い方の復習をしておいてください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びプログラミングの実技テストの評点により行います。 <b>【受講者が当日用意するもの】</b> ・USBメモリ・学生証：授業内でログイン操作を伴う実習を行うため、必ず必要です。 <b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。 <b>【参考書】</b> ・明快入門C スーパービギナー編(林晴比古／ソフトバンククリエイティブ(株) / ¥1,760 / ISBN=9784797374612) <b>【その他（特記事項）】</b> この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
学習センター	山梨学習センター		
学習センターコード	19A		
クラスコード	K		
科目名	プログラムってどうやって作るの		
科目区分	導入科目：情報		
ナンバリング	220		
定員	15名		
担当講師	ハットリ モトノブ 服部 元信 (山梨大学・教授)		
日程 実施時間	12月17日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 12月18日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時は開講		

科目コード	2608332	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 人はどのようにして衣服をつくってきたのでしょうか？衣服の原料となる繊維は塵のように軽く、細いものです。このような繊維をコントロールして衣服にまでするには、幾つかの重要な技法の発見が必要であったことは想像に難くありません。授業では厚紙や木片製の簡素な道具を用い、羊毛を紡いでマフラーを織ります（糸車や織機は使いません）。「紡ぐ（撚る）」、「織る」といった服飾の原点とも言える技法を講義や実習で学びながら、衣服づくりの道筋を辿ってみましょう。
学習センター	山梨学習センター		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 紡ぐ（1服飾の原点となる技法：撚る） 第2回 紡ぐ（2羊毛のカーディング） 第3回 紡ぐ（3スピンドルを使って糸を紡ぐ） 第4回 紡ぐ（4双糸をつくる） 第5回 織る（1服飾の原点となる技法：織る） 第6回 織る（2整経） 第7回 織る（3厚紙製の簡素な機を用いた手織り） 第8回 着装とまとめ
学習センターコード	19A		<b>【学生へのメッセージ】</b> 糸紡ぎや機織りの未経験者を対象としています。製作進度によっては各回の内容が異なる場合もあります。授業は技法の理解や習得を目指しています。市販品のような立派なものはつくれませんのでご注意ください。
クラスコード	K		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
科目名	紡ぐ・織る－服飾の原点の技法		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
科目区分	専門科目：生活と福祉		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 筆記用具。感染予防のためのマスクのご準備・着用をお願いします。動きやすく汚れても良い服装でお越し下さい。
ナンバリング	320		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
定員	12名		<b>【その他（特記事項）】</b> 長時間、立ったり座ったりの作業となりますので、スリッパや座布団など（ただし教室は土足教室ですので汚れても良いもの）を適宜ご準備ください。水分補給のための飲み物はフタの閉まる容器のものをお願いします。
担当講師	オカマツ メグミ 岡松 恵 (山梨大学・准教授)		
日程実施時間	11月5日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月6日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 謙・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	山梨大学L339教室（山梨大学甲府キャンパス内） ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2608340	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 日本の医療の特色は世界に誇る皆保険制度と世界有数の高度医療です。しかし、その問題点として過剰受診や過剰診療に伴う医療費の高騰が挙げられてきました。一方、欧米では「自らの健康には自らが責任を持ち、自らが治療出来るものは自で行う」いわゆるセルフメディケーションの文化があり、その概念はこれからの日本の医療にも必要と考えられています。本講座では、セルフケアの概念とセルフメディケーションに繋がる症候論・臨床推論について講義を行います。
学習センター	山梨学習センター		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 日本の医療の現状とセルフケア 第2回 症候論と臨床推論 第3回 セルフメディケーションと受診勧奨 第4回 頻度の高い症候① 第5回 頻度の高い症候② 第6回 頻度の高い症候③ 第7回 頻度の高い症候④ 第8回 健康と持続可能な医療とは？
学習センターコード	19A		<b>【学生へのメッセージ】</b> 第8回では、健康と社会について自由に意見交換を行う時間を設けます。
クラスコード	K		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
科目名	症候論とセルフケア		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及び第8回で行うグループワークでの成果（発表）の評価により行います。
科目区分	専門科目：生活と福祉		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
ナンバリング	320		<b>【その他（特記事項）】</b>
定員	40名		
担当講師	イタクラ ジュン 板倉 淳 (山梨大学医学部・病院教授)		
日程実施時間	11月26日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月27日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00		
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時はWeb（Zoom）授業で実施		

科目コード	2601486
学習センター	山梨学習センター
学習センターコード	19A
クラスコード	K
科目名	心理検査法 基礎実習
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	カワシマ アキコ 川島 亜紀子 (山梨大学・准教授)
日程 実施時間	10月22日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 10月23日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時は開講

授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 本授業では、心理検査の基本と実践について、講義と実習を通して理解することを目的とします。本授業では、性格や知的能力、態度といった「こころ」の諸側面における個人差をどのように測定するのかについての概要を説明し、実際に3種類の心理検査を体験し、それぞれについてレポート(目的・方法・結果・考察を含めた標準的なレポート)にまとめます。また、心理検査に関わる倫理や限界、社会的な影響についても学びます。なお、8回の授業すべてに出席し、3種類すべてのレポートを提出する必要があります。
	<b>【授業テーマ】</b> 第1回 オリエンテーション 心理検査の目的と種類 倫理的問題 第2回 検査実習1 YG性格検査 実習1のレポート作成 第3回 臨床的に使用される検査を知る(知能検査など) 第4回 検査実習2 文章完成法 実習2のレポート作成 第5回 心理尺度の作り方(項目分析、因子分析) 第6回 検査実習3 バウムテスト 実習3のレポート作成 第7回 投影法(ロールシャッハ・テスト、TATなど)を知る 第8回 心理検査の活用(テスト・バッテリー) まとめ
	<b>【学生へのメッセージ】</b> 心理検査を体験し、ご自身の結果を解釈してレポート(目的・方法・結果・考察を含む標準的レポート)を提出してもらいます。この授業を通じて自己理解を深めていただくと幸いです。
	<b>【受講前の準備学習等】</b> 実習課題の内容についてあらかじめ調べておく必要はありませんが、授業や提出するレポートでは、パソコンのワープロソフトや表計算ソフトを使用しますので、入力などの基本的作業を練習しておいてください。
	<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
	<b>【受講者が当日用意するもの】</b> ワードとエクセルが入ったパソコン(タブレットも可)、HBの鉛筆2、3本と消しゴム、赤のボールペン、定規(短いものでよい)
	<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
	<b>【その他(特記事項)】</b> この授業を受講するにあたっては、放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。

科目コード	2601761
学習センター	山梨学習センター
学習センターコード	19A
クラスコード	K
科目名	心理学実験1
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	サカイ アツシ 酒井 厚 (東京都立大学・教授)
日程 実施時間	11月19日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月20日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時は開講

授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> この授業では、心理学の基礎的な研究テーマを基に、実験心理学でよく使用される方法と考え方を学びます。具体的には、実験者や実験参加者として参加し、データを収集してそれを処理し、得られた結果とそこから考察できることをレポートにまとめるという、研究の一連の作業を学びます。研究テーマは「ミュラー・リヤー錯視」、「心理尺度」、「目撃者証言」の3種類です。8コマすべての授業に出席し、授業終了後に、3つすべての実験についてレポートを提出していただきます。
	<b>【授業テーマ】</b> 第1回 心理学研究のやり方とレポートの書き方 第2回 ミュラー・リヤー錯視1：実験 第3回 ミュラー・リヤー錯視2：データの処理と解説 第4回 心理尺度1：実験 第5回 心理尺度2：データの処理と解説 第6回 目撃者証言1：実験 第7回 目撃者証言2：データの処理と解説 第8回 まとめ
	<b>【学生へのメッセージ】</b> 心理学の実験研究は、データを計算して結果にまとめる作業を伴うものです。授業での班活動やレポート作成のために、パソコンで文字・数字を入力することが求められます。皆さんが研究のプロセスを実際に体験しながら、心理学の奥深さを共に学んでいきましょう。
	<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
	<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及び学術レポートの評点により行います。レポートは期限を設定の上、後日提出していただきます。
	<b>【受講者が当日用意するもの】</b> ワードとエクセルが入っているパソコン・筆記用具・定規・グループ内でデータのやりとりをするので、USBメモリを必ず持参してください。
	<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
	<b>【参考書】</b> ・心理学実験・研究レポートの書き方 学生のための初歩から卒論まで(B.フィンドレイ(細江達郎・細越久美子訳)／北大路書房／¥1,430／ISBN=9784762820465)
	<b>【その他(特記事項)】</b> 心理学実験1・心理学実験2・心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。なお、この授業を受講するにあたっては、放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。

科目コード	2601451	授 業 概 要	<p><b>【授業内容】</b> この授業では、心理学の基礎的な研究テーマを基に、実験心理学でよく使用される方法と考え方を学びます。具体的には、実験者や実験参加者として参加し、データを収集してそれを処理し、得られた結果とそこから考察できることをレポートにまとめるという、研究の一連の作業を学びます。研究テーマは「鏡映描写」、「ストループ効果」、「囚人のジレンマ」の3種類です。8コマすべての授業に出席し、授業終了後に、3つすべての実験についてレポートを提出していただきます。</p> <p><b>【授業テーマ】</b> 第1回 心理学研究のやり方とレポートの書き方 第2回 鏡映描写1：実験 第3回 鏡映描写2：データの処理と解説 第4回 ストループ効果1：実験 第5回 ストループ効果2：データの処理と解説 第6回 囚人のジレンマ1：実験 第7回 囚人のジレンマ2：データの処理と解説 第8回 まとめ</p> <p><b>【学生へのメッセージ】</b> 心理学の実験研究は、データを計算して結果にまとめる作業を伴うものです。授業での班活動やレポート作成のために、パソコンで文字・数字を入力することが求められます。皆さんが研究のプロセスを実際に体験しながら、心理学の奥深さを共に学んでいきましょう。</p> <p><b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p><b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及び学術レポートの評点により行います。レポートは期限を設定の上、後日提出していただきます。</p> <p><b>【受講者が当日用意するもの】</b> ・ワードとエクセルが入っているパソコン ・筆記用具（黒鉛筆、赤鉛筆） ・グループ内でデータのやりとりをするので、USBメモリを必ず持参してください。</p> <p><b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。</p> <p><b>【参考書】</b> ・心理学実験・研究レポートの書き方 学生のための初歩から卒論まで（B. フィンドレイ（細江達郎・細越久美子訳）／北大路書房／¥1,430／ISBN=9784762820465）</p> <p><b>【その他（特記事項）】</b> 心理学実験1・心理学実験2・心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。なお、この授業を受講するにあたっては、放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。</p>
学習センター	山梨学習センター		
学習センターコード	19A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験3		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	サカイ アツシ 酒井 厚 (東京都立大学・教授)		
日程 実施時間	11月26日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月27日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15		
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2608359	授 業 概 要	<p><b>【授業内容】</b> この授業では、講義と演習を織り混ぜ、カウンセリング/心理療法の場面での基本的な「型」や「言葉」を学ぶとともに、その場でその都度生じていることに開かれる感性を、ロールプレイ等を通して体験的に学習します。また、バウムテストと風景構成法といった投映描画法の体験を通して学び、その施行法や留意点について丁寧に学びつつ、自分自身の心のあり方に気づくことにつなげます。</p> <p><b>【授業テーマ】</b> 第1回 話を聴くということ（講義） 第2回 カウンセリング場面での身体（演習） 第3回 非言語コミュニケーションに開かれる（演習） 第4回 カウンセリングにおける対話・やりとり（演習） 第5回 投映描画法（1）バウムテスト（演習） 第6回 投映描画法（2）風景構成法（演習） 第7回 投映描画法を見立てにつなげる（講義、演習） 第8回 学んだことを総合する（講義）</p> <p><b>【学生へのメッセージ】</b> カウンセリングは自分自身の可能性に開かれるものであることを、ぜひ体感してください。自分を知ること、他者を知ることが、楽しいことであることを伝えたいと思います。</p> <p><b>【受講前の準備学習等】</b> この授業を受講する前に、心理カウンセリングに関する知識をある程度得ておくことをお勧めします。学部科目「心理カウンセリング序説」「人格心理学」「心理臨床の基礎」のいずれかを受講していることが望ましいです。開講年度は問いません。</p> <p><b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。レポートは後日提出ではなく、当日に課します。</p> <p><b>【受講者が当日用意するもの】</b> 2B～4B程度の黒鉛筆、消しゴム、細字の黒サインペン（ラッションペン）、24色程度の色鉛筆もしくはクレパス</p> <p><b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。</p> <p><b>【その他（特記事項）】</b></p>
学習センター	山梨学習センター		
学習センターコード	19A		
クラスコード	K		
科目名	心理カウンセリングの基礎を学ぶ		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	オオヤマ ヤスヒロ 大山 泰宏 (放送大学・教授)		
日程 実施時間	12月17日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 12月18日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 講義・レポート 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2608367
学習センター	山梨学習センター
学習センターコード	19A
クラスコード	K
科目名	クリスタル科学
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	クマダ ノブヒロ 熊田 伸弘 (山梨大学・理事) タナカ イサオ 田中 功 (山梨大学クリスタル科学研究センター・教授)
日程 実施時間	10月15日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 10月16日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00
実施会場	山梨学習センター及び山梨大学 クリスタル科学研究センター (山梨大学甲府キャンパス内) ※不測の事態発生時は閉講

授業概要

<b>【授業内容】</b> クリスタル(結晶)は、宝飾産業を地場産業の一つとする山梨県に密接に関わっています。山梨大学のクリスタル科学研究センターにおいても水晶、ルビーやルチルなどの人工合成技術を開発したり、その技術を機能性無機材料へ応用する研究を行っています。本講義では、クリスタルに慣れ親しんでもらうためにクリスタルの基礎について科学的に解説するとともに人工水晶などのクリスタル作りの実習を行います。
<b>【授業テーマ】</b> 第1回 結晶とは 第2回 結晶はどのようにしてできるか 第3回 人工水晶を作ろう1(溶解→析出による結晶育成) 第4回 結晶の顕微鏡観察 第5回 人工宝石を作ろう1(融解→凝固による結晶育成) 第6回 人工水晶を作ろう2 第7回 人工宝石を作ろう2 第8回 物質の色
<b>【学生へのメッセージ】</b> 結晶に関する基礎知識を学び、人工宝石の合成、顕微鏡観察および分光器の作製などの実習を行います。
<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及び各回で課す小テストにより行います。
<b>【受講者が当日用意するもの】</b> センター内移動用に上履きを持参ください。人工結晶の研磨加工依頼を希望する方は、当日に実費3,500円を徴収します。
<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
<b>【その他(特記事項)】</b> 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧P17参照)

科目コード	2608375
学習センター	山梨学習センター
学習センターコード	19A
クラスコード	K
科目名	防災・減災の実学
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	スズキ タケヤス 鈴木 猛康 (特定非営利活動法人 防災推進機構・理事長)
日程 実施時間	12月3日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 12月4日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 談話・レポート 16:15～17:00
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時はWeb(ZOOM)授業で実施

授業概要

<b>【授業内容】</b> 災害とは自然の脅威としての地震、台風などの誘因が、自然素因(地形、地質など)や社会素因(都市の脆弱性や人の防災意識など)を上回ったときに発生するものです。自然の脅威を知ったうえで、自分がどんな場所に住んでいるか(自然素因)を認識し、いかにして対策を行って防災力(社会素因)を高めるかによって、大災害から身を守り、資産を守ることができるのです。本授業では、皆さんが家庭の防災力を高めるための知恵・術・仕組み、すなわち防災・減災の実学を、座学とワークショップで学んでいただくことを学習到達目標とします。
<b>【授業テーマ】</b> 第1回 全国で猛威を振るう自然災害 第2回 あなたも自然災害の脅威にさらされる 第3回 我が家の防災・減災(ワークショップ) 第4回 発表とまとめ(自然災害の誘因と素因) 第5回 我が国は災害情報で氾濫 第6回 大災害を乗り越えるための地区防災計画 第7回 地域防災(ワークショップ) 第8回 発表とまとめ(住民・行政協働による地域防災)
<b>【学生へのメッセージ】</b> 本授業を受講し、あなたと家族を自然災害から守るための実学を身につけてください。
<b>【受講前の準備学習等】</b> 普段より、テレビ、新聞等による災害報道を見るよう心がけてください。
<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況(ワークショップを含む)及び筆記試験の評点により行います。筆記試験には、教科書、授業のノート、メモの持ち込みを可とします。
<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 筆記用具、授業用ノート。教科書代(3,080円お釣りのないようお願いします。)
<b>【教科書】</b> ・防災工学(鈴木猛康編著/理工図書/¥3,850/ISBN=4844608797)著者割引(税込み3,080円)にて初回授業時に教室で販売します。
<b>【参考書】</b> ・山梨と災害(山梨大学地域防災・マネジメント研究センター/山梨日日新聞社/¥2,200/ISBN=4897105358) ・大災害から命を守る知恵・術・仕組み(鈴木猛康/静岡学術出版/¥1,430/ISBN=4864740445) ・巨大大災害を乗り越える地域防災力(鈴木猛康/静岡学術出版/¥1,650/ISBN=4903859703)
<b>【その他(特記事項)】</b>

科目コード	2608383	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> ワインに関する基礎を学びます。ワインの原料である「ぶどう」、アルコールを造る「酵母」やワイン醸造法等の基礎知識や最新の日本ワイン情報を身につけていただきます。また、講義の後半には、実際のワイン醸造現場での学習も行います。さらに、ワインを美味しく味わうために、実際にワインのテイastingを体験実習します。
学習センター	山梨学習センター		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 ワインとブドウ 第2回 ワイン醸造と微生物 第3回 海洋酵母ワインと赤池幻酵母ワイン、開府500年スパークリングワイン 第4回 ワインと健康 第5回 日本ワインについて 第6回 ワインのテイastingについて 第7回 ワイン科学研究センターの説明と見学 第8回 ワインの保存方法及びワインを飲むときの正しいマナーについて
学習センターコード	19A		<b>【学生へのメッセージ】</b> 注1) 面接授業2日目最終講義終了後、ワインのテイastingの講習を行います。注2) テイastingには受講者全員の参加を希望します。注3) 未成年者、車での来校者は受講出来ません。
クラスコード	K		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
科目名	ワインの基礎知識		<b>【成績評価の方法】</b> 面接授業2日目第3時限に簡単なレポートを課し、その評点により行います。
科目区分	専門科目：社会と産業		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> テイasting代として、当日1,500円いただきますのでご用意ください。
ナンバリング	320		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
定員	20名		<b>【その他（特記事項）】</b>
担当講師	ヤナギダ フジトシ 柳田 藤寿 (山梨大学ワイン科学研究センター・教授)		
日程実施時間	1月7日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 1月8日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～14:35 議・レポート等 14:35～15:20 第4時限 15:30～17:00		
実施会場	山梨学習センター及び山梨大学ワイン科学研究センター(山梨大学甲府キャンパス内) ※不測の事態発生時はWeb (Zoom) 授業で実施		

科目コード	2608391	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 日本の音楽という何を思い浮かべられますか？雅楽、民謡、箏や三味線の音楽、はたまた演歌やJ-popまで様々な音楽がその範疇に含まれます。それらは個々に歴史があり、固有の表現となっていますが、案外似通っている部分もあります。日本の伝統音楽や最初の学校音楽から現代の若者の音楽まで様々な音楽を取り上げ、その特徴の固有性や共通性について考えてみたいと思います。実際に楽器に触れていただいたり、簡単な演奏も行ったりしたいと思います。
学習センター	山梨学習センター		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 学校唱歌の歴史 第2回 わらべうたと童謡 第3回 日本の音階 第4回 雅楽《越天楽》 第5回 伝統音楽 第6回 日本の楽器 第7回 郷土の民謡 第8回 演歌とJ-pop
学習センターコード	19A		<b>【学生へのメッセージ】</b> 世の中には様々な音楽が溢れていますが、「日本の音楽」という視点から音楽について考え、聴いたり表現したりします。表現は苦手という方も難しいことはしませんので、ぜひご参加ください。
クラスコード	K		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
科目名	日本の音楽再発見		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
科目区分	専門科目：人間と文化		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
ナンバリング	320		<b>【その他（特記事項）】</b>
定員	20名		
担当講師	コジマ チカ 小島 千か (山梨大学・准教授)		
日程実施時間	10月22日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 10月23日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 議・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	山梨大学音楽総合演習室(山梨大学甲府キャンパス内) ※不測の事態発生時はWeb (Zoom) 授業で実施		

科目コード	2608405
学習センター	山梨学習センター
学習センターコード	19A
クラスコード	K
科目名	山梨の考古学
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ヤマシタ タカシ 山下 孝司 <small>(甲府市教育委員会歴史文化財課 会計年度任用職員/山梨大学 非常勤講師)</small>
日程 実施時間	12月3日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 12月4日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時は開講

授業概要

<b>【授業内容】</b> 考古学は、土に埋もれた歴史を、発掘調査によって掘り起こし、過去の人類が残したモノ（物質資料）から明らかにする学問です。山梨県内の考古学の成果を紹介し、主に文字で書かれた文献史料を研究対象とする歴史学とは異なる、考古学の学問的な特性を理解し、山梨という地域の歴史を考え学びたいと思います。
<b>【授業テーマ】</b> 第1回 考古学入門 ～発掘調査と山梨の考古学～ 第2回 旧石器時代 ～山梨の自然環境と遊動生活～ 第3回 縄文時代 ～遺跡が語る縄文時代の山梨～ 第4回 弥生時代 ～山梨における水田稲作のはじまり～ 第5回 古墳時代 ～王権の誕生と山梨の古墳～ 第6回 奈良・平安時代 ～律令制下の都と甲斐国～ 第7回 武士の台頭と中世 ～戦国時代の甲府～ 第8回 天下統一と江戸時代 ～甲府城と城下町～
<b>【学生へのメッセージ】</b> 地下から発掘された資料（モノ）をもとに、そこから復元される、山梨の歴史について年代を追って順に見ていきましょう。
<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
<b>【その他（特記事項）】</b>

科目コード	2608413
学習センター	山梨学習センター
学習センターコード	19A
クラスコード	K
科目名	食物科学入門
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	モテツキ カズキ 望月 和樹 (山梨大学・教授)
日程 実施時間	10月15日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 10月16日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時はWeb (Zoom) 授業で実施

授業概要

<b>【授業内容】</b> 人間と食品の関わりを理解するとともに、食品中の成分を分子構造（有機化学、無機化学）から理解し、食品中の成分の役割を理解する。栄養からというより食品中の成分が食品の形、美味しさ、保存等にどのように役に立っているかを考える講義です。
<b>【授業テーマ】</b> 第1回 人間と食物・食文化、食生活と健康、食料と環境問題 第2回 食品機能の概説（一次機能、二次機能、三次機能、食品添加物の機能） 第3回 炭水化物の構造と役割1 第4回 炭水化物の構造と役割2 第5回 脂質の構造と役割 第6回 アミノ酸・タンパク質の構造と役割 第7回 食品中のビタミンの構造の役割 第8回 食品中のミネラルの構造の役割
<b>【学生へのメッセージ】</b> 食品中の成分には栄養素になる成分だけではなく、食品を形作る成分、美味しさを形作る成分、保存に関わる成分があります。栄養の側面から、食品の側面から、両方を理解することが正しい食生活に繋がります。昨年度は、栄養の側面からの講義をしましたが、今年は食品の側面からの講義を実施します。
<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
<b>【その他（特記事項）】</b>



科目コード	2608421	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 富士山が世界文化遺産に登録されてから、富士山への関心は高まっていますが、富士山についての自然科学的な側面については学ぶ機会がなかなかありません。特に火山災害・防災に関する研究の進展とあわせて、自然科学的な側面の内、火山としての富士山、まためぐみ、特に水に関する、最新の自然科学的成果が上がっています。本講義では、活火山としての富士山の成り立ちからそのめぐみとしての水資源について話をしたいと思います。
学習センター	山梨学習センター		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 日本の地質 第2回 火山の基礎 第3回 火山の噴火様式と富士山の成り立ち 第4回 火山の噴火災害とめぐみ 第5回 生命を支える地球の水・水の基礎知識 第6回 様々な水質とその起源 第7回 富士山のめぐみ 水 第8回 全体のまとめ
学習センターコード	19A		<b>【学生へのメッセージ】</b> 火山噴火は時に多大な災害をもたらしますが、静穏時にはより大きなめぐみを与えてくれます。このような富士山の光と影について、自然科学的な側面から一緒に考えていただければと思います。
クラスコード	K		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバス（参考図書など）を参考にして自己学習に努めてください。
科目名	富士山 －火山と水－		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及び筆記試験の評点により行います。
科目区分	専門科目：自然と環境		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 富士山に関する情報、特に火山及び水資源に関する情報を集めてみて下さい。
ナンバリング	320		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
定員	40名		<b>【参考書】</b> ・地球進化 46億年の物語（ブルーバックス）（ロバート・ヘイゼン（著）円城寺守（監訳）渡会圭子（翻訳）／講談社／¥1,276／ISBN=9784062578653） ・地学雑誌 小特集：富士山の地下水（地学雑誌、126巻（2017）1号）2.（地学雑誌、129巻（2020）5号（内山 高ほか／東京地学協会／¥0）次のURLから、該当する論文のPDFファイルをダウンロードすることができます。 <a href="https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jgeography/126/1/_contents-char/ja/">https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jgeography/126/1/_contents-char/ja/</a>
担当講師	ウチャマ タカシ 内山 高 (山梨県富士山科学研究所・専門員)		<b>【その他（特記事項）】</b>
日程 実施時間	11月19日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月20日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・ポ一特 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時はWeb（Zoom） 授業で実施		